

○ みらいちゃんの棚田教室 in 相川小学校 令和8年5月11日

- 佐渡市立相川小学校の4年生を対象に、棚田教室を実施。
- 達者の棚田（協力：達者地域づくりの会）において、田植え体験を実施するとともに、ふりかえり学習において、「棚田が耕作されなくなった場合、どうなるか」を考察させ、多面的機能（防災・景観保全等）への理解を深めた。
- 次回は6月15日に「生き物調査」を予定。



植え方の説明



田植えの様子



集合写真



ふりかえり学習

棚田のすごいところは？

<ふりかえり>

① おいしいお米をつくる



② 水をためて洪水を防ぐ



田はあぜで囲まれているので、水をためることができます。

③ きれいな地下水を作る



④ 美しい風景をつくる



達者の棚田

⑤ 土砂くずれを防ぐ



作物を作っていると・・・

大雨がふっても、雨は田畑にたまり地下水が急に増えないため、土砂くずれが起きにくくなる。



長い間、作物を作っていないと・・・

大雨がふると、手入れをしていない田畑には水がたまり地下水が急に増えて、土砂くずれが起きやすくなる。

⑥ 生きものを育てる

第2回 生き物調査
6月15日（月）で学ぼう！



もっと棚田のことを
知ってほしいな



新潟県農地部農村環境課
農村の明日のために、
新潟の「その先」のために

ふりかえり学習の資料

棚田のすごいところは？

<ふりかえり>

① おいしいお米をつくる



② 水をためて洪水を防ぐ



③ きれいな地下水を作る



④ 美しい風景をつくる



達者の棚田

⑤ 土砂くずれを防ぐ



⑥ 生きものを育てる

第2回 生き物調査
6月15日(月)で学ぼう！



もっと棚田のことを
知ってほしいな



新潟県農地部農村環境課
農村の明日のために、
新潟の「その先」のために

◀▼「もし棚田がなくなったら？」
ふりかえり学習で、棚田の重要性を
学びました。



＼ 参加した児童全員が「楽しかった！」／



満足度 100% !!
「とても楽しかった」... 12名
「まあまあ楽しかった」... 2名
一相川小4年生
14名のアンケート結果より



棚田から広がる、子供たちの新しい視点



みらいちゃんの棚田教室

in 相川小学校

初めての田植え
自分の手でやってみよう！



山本さんから
教わった植え
方で一生懸命
頑張りました



みんなで記念撮影

棚田で育む
未来への種まき

田植えや稲刈り、生き物調査などの体験を通して、棚田を守る活動の大切さを子供たちに伝える「みらいちゃんの棚田教室」。幼いころの原体験から、将来の担い手やファンになってもらいたいーそんな思いが詰まった教室の幕開けとして、今回は佐渡市立相川小学校の4年生たちが、元氣いっぱい田植えに挑戦しました。

受入地域の声

(達者地域づくりの会)

ほとんどの児童が田植え初体験で、最初は泥や虫にネガティブな反応もありましたが、手植えを進めるうちに笑顔が広がり、最後には「またやりたい！」に。

受け入れの負担は小さくはないが、実施の意義は大きいと感じました。これからの継続に向けて、みんなで知恵を出し合っていきたいです。

教育現場の声

(相川小学校)



田植えを経験したことのない子供たちにとってとても貴重な体験で、棚田の大切さについても学ぶことができる有意義な機会となりました。一方で、継続にあたっては工夫が必要な面もあり、無理のない形を探っていくことが大切だと感じました。

棚田について、気づいたこと

- ・階段みたいになっている
- ・田んぼの水は温かい
- ・生き物がいっぱいいた
- ・稲は二酸化炭素を吸って、酸素を出している
- ・稲の持ち方、植え方があること
- ・農業をしている人は、頑張ってお米を作っている

棚田がなくなったら、どうなってしまう？

- ・おいしいお米が食べられなくなる、取れる量が減る
- ・酸素が少なくなる
- ・作っている人が(もっと)大変になる

一相川小4年生 14名のアンケート結果より



▶はじめの一步は、みんなおそろそろ

◀気づけば泥だらけ！
夢中で頑張った勲章です。

